

会 議 議 事 録

審議会等の名称	令和８年度 第１回磐田市健康づくり推進協議会
担当部課名	健康福祉部 健康増進課
会議の開催日時	令和８年８月１３日(木) 午後２時００分～３時１０分
会議の開催場所	磐田市総合健康福祉会館（Ｉプラザ）２階ふれあい交流室１
出席者 (職・氏名)	委員：１１名中１０名出席 西部健康福祉センター健康増進課班長 健康福祉部長、事務局：(健康増進課) 課長、課長補佐、地域保健Ｇ長、 保健師４名、(福祉政策課) 保健師１名
議 題	１．開 会 ２．新任委員紹介 ３．健康福祉部長挨拶 ４．会長挨拶 ５．議事・協議 （１）令和８年度の健幸いわた 21 推進に向けた取組状況について （２）高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業について ６．その他 連絡事項 ７．閉 会
配付資料等の件名	・令和８年度 第１回磐田市健康づくり推進協議会次第 ・令和８年度 健康づくり推進協議会委員名簿 ・令和７年度の主な課題・令和８年度の取組状況（資料１） ・高齢者の保健事業と一体的な実施事業について（資料２） ・ご意見・ご感想用紙
１．開会	健康増進課長
２．新任委員紹介	磐田市医師会代表委員１名が就任 磐田市保育園代表委員１名が就任 自己紹介
３．健康福祉部長 挨拶	健康福祉部長挨拶
４．会長挨拶	会長挨拶
事務局	出席者数の報告をします。 本日の協議会は委員１１名中出席者１０名で過半数の出席をいただいておりますので、会議は成立しておりますことを報告いたします。ここから、要綱第５条により、議事の進行を会長にお願いします。
５．議事・協議	次第に従って議事を進めます。 まずは、次第５（１）「令和８年度の健幸いわた 21 推進に向け

(1) 令和8年度の健幸いわた21推進に向けた取組状況について 事務局	た取組状況について」事務局より説明をお願いいたします。 ・令和8年度の健幸いわた21推進に向けた取組状況について (資料1)に沿って説明
意見交換 会長	意見交換に移ります。市民の野菜摂取量を増やすための取り組みについて、令和8年度だけではなく、次年度以降に向けての意見を伺います。
委員	ポスターコンクールについて、周知が行き届いているのか広報の仕方について伺いたいです。
事務局	各小学校への周知については、校長会に出向き事業の説明を行うとともに、各小学校から生徒と保護者へ周知をお願いしました。また、「コドモン」(各学校や教育委員会から保護者への連絡アプリ)で、教育委員会から事業についての配信をしていただきました。
会長	全員に周知することは難しいと思います。 また、ベジチェックの効果測定について伺いたいです。
事務局	測定者の効果測定をするために、特定の測定者を追うことは行っていないです。今年度はベジチェック測定をより多くの市民に実施することを目的とし、月2～3回は市内各所で行えるようにしております。測定者の中には、前回の結果と比較しながら期間を空けて測定に参加される方が増えています。昨年度の実績では、市内店舗等で行ったベジチェック測定の回数は延べ64回、参加者が3,322人でした。
委員	ウォーキングマップの普及啓発について伺いたいです。 民生委員児童委員協議会や交流センター講座等で今年度周知していきますか。
事務局	令和8年4月から5月に、各地区担当保健師が民生委員児童委員協議会定例会でチラシを配布させていただきました。一部地域においては、同定例会で周知せず交流センターへの配架のみとなった可能性もあります。市民の方々からの需要が想定より多く、1ヶ月程度で当初予定していた冊数が配布完了となったため、令和8年度予算で増刷をしました。ウォーキングマップ自体は市ホームページからもダウンロードできますが、冊子で手に取って歩きたいというご意見が多いことが把握できまし

	た。
委員	コースの紹介等、色々な情報が広く周知されることを期待します。また、自分が住んでいる自治会でも高齢者の方が「いきいき百歳体操」に参加しているが、マンネリ化しており、新規参加者が増えないという課題があるため、事業のPRも必要であると思います。私は実際にいきいき百歳体操に参加したことがなく、いつ、どのような方々が行っているか分かりません。可能であれば、民生委員・児童委員協議会などにも紹介していただくとうれしいです。
事務局	いきいき百歳体操については、既存の団体に入るのが難しい方もいるため、新規団体の立ち上げを目的として年間5回ほど市内各所でプレゼンを行っています。実際、立ち上げに至る団体はそのうちの一部です。また、活動のマンネリ化予防のために、交流会や専門職派遣、インセンティブの提供、10年継続表彰等を行っています。民生委員・児童委員協議会定例会の中で各地区担当保健師が、いきいき百歳体操について説明させていただくことは可能なため、お申し出いただければと思います。
委員	ポスターコンクールについては校長会でお話がありました。学校現場は、昔に比べ長期休暇中の課題量が減少しているのが現状です。「コドモン」を通して保護者に配信されましたが、「コドモン」の配信量は学校だけでもすごい量であるため、見逃される可能性もあります。事業の周知について、紙媒体がいいのか、SNSを通して配信した方がいいのか、広報活動が課題であると感じます。健康増進課のインスタグラムフォロワー数が538人ですが、多いと捉えてよい数字なのかどうか。配信は月に何回ですか。
事務局	フォロワー数は直近で600人を超えました。最近になり投稿の件数は上がっております。年度当初は毎月1日の健幸いわたDAYに合わせて1件の投稿でしたのが、最近は月4~5件ほどと投稿数は増えています。別に、月の途中にも5~6件ほど健康情報を投稿しています。
委員	フォロワー数の増加が課題だと思います。市民の数に対して、少ないと思います。また、ポスターコンクールで入賞した作品を野菜販売所で展示する予定ですが、ぜひ学校も利用していただきたい。例えば、学校給食の献立にQRコードを掲載し、入賞した作品を見ていただくなど上手く活用できると思います。「やさいをおいしくたべたよシート」と「朝食バランスシート」は、どう違うのですか。

事務局	これまで行っていたのは、まず野菜を摂取することに重点を置いたシートです。これも引き続き行いますが、朝食バランスシートは、朝食で野菜や肉などをバランスよく食べられたかシールを貼りながら確認をしていくというものになります。「やさいをおいしくたべたよシート」を一步進めた形で行うものです。
委員	学校でも朝食調べや生活リズム表などを学府として行っています。幼小接続とも言われているため、園のみでやるだけではなく、小学校と繋がるためにどういうシートを作ったらいいかを考えるのも手だと思います。
委員	「やさいをおいしくたべたよシート」は保護者に渡すが、実際何をどれだけ食べたかはわかりません。野菜を苦手とすることも、就園時からある程度決まっており、野菜を食べないこどもは継続して食べない傾向があります。まず目に触れるところや匂いからというところで、給食は1日1食ですが、その中でも先生方が工夫をしています。園は実体験を通してこどもたちに食育ができる強みがあります。給食では食べないが自分で育てた野菜なら食べることもあるので、保護者にも啓発しながら園では取り組んでいます。 また、園では月に1週間ウォーキングデイを設けており、歩いた児にシールを配布する取組を実施しているため、ぜひ2学期から市が作成したウォーキングマップも活用しながら進めていきたいです。
委員	ウォーキングマップの件で、給水できる場所が明確にわかるように見直せないかと思いました。 また、特定健診の対象者は、国民健康保険に加入している方が対象者ということですか。後期高齢者は特定健診から外れているということですか。教えていただければと思います。
事務局	特定健診についてですが、国民健康保険に加入されている方が対象になります。社会保険の方は会社等で同様の健診を、後期高齢者の方は後期高齢者健診という形で、何かしら健診受診の機会があります。磐田市国民健康保険の特定健診対象者ですが、令和7年度は23,460人、そのうち40%程度の方が受診されています。特定健診は75歳未満を対象とし、若い世代からの生活習慣病予防を目的としており、後期高齢者健診対象の75歳以上の方は、健康でい続けるために自分の体の状態を知っていただき早期受診に繋げることを目的としています。
会長	次に、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、事務局からお願いいたします。

（２）高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業について 事務局	・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業について （資料２）に沿って説明
意見交換 会長	説明が一通り終わりましたので、意見交換に移りたいと思います。
委員	ハイリスクアプローチの健康状態不明者 419 名というのは多いのか少ないのか。実際に働いていて在宅にいない、認知症などの問題でコミュニケーションが取れない等、個別の事情が多くあると考えます。実態把握の結果、傾向が分かると、介入方法が見えてくると思いました。
事務局	健康状態不明の要因としては、その方の価値観やご家族の状況など、色々な要因があるので、個別の課題がどこにあるのか見つけながら対策をとっていくことになります。個に視点がいき、広い視点で見られていないため、広い視点で分析していきたいと思います。
会長	ご意見お願いします。
委員	特に磐田市では糖尿病が非常に重要な疾患だと思います。ハイリスクアプローチでは、保健指導が最終的なゴールではなく医療機関にどれだけ受診されたのか、その結果などを示した方が分かりやすいと思います。多くの方が保健指導で医療機関を受診しているから良いと判断できます。最終的に病院受診しなかった場合は、健康状態不明者と同じようにまた別のアプローチをするということになるため、そういったことを示していただくことが重要だと思います。
事務局	会議等での示し方については工夫し、県の皆様方のお知恵もいただきながら事業を進めていきたいと思っています。
委員	県の事業の中から市ではこのくらいできている、市に移行しこんなやり方をしている等分かれば、自治会としても市の進めている事業だから、推進できるようにという説得の仕方もあると思います。会合などで実態を伝えていきたいと思っています。
委員	健康状態不明者に対して民生委員に情報共有はありますか。訪問する中で、声がけもできます。高齢者は医療機関受診するための足がない人もいます。訪問する中で、特に男性高齢者は

	「80歳を過ぎているから医者にかかるのはやめる」という方がいます。健康状態不明者についてはいろいろ問題があると民生委員の立場で感じます。
事務局	訪問で会えない方も中にはいて、民生委員の方々に、実際に状況をお聞きすることもあります。地域包括支援センターも本当に困っているケースの方々の支援の際、民生委員の皆様方にご協力をお願いすることもあると思います。心配な方がいらっしゃれば地域包括支援センターの方にお伝えしていただき、支援につながればよいと思います。
会長	民生委員への情報提供については、法律の壁は特に存在しないのですか。
事務局	個人情報の保護という点で、必要と判断された場合、できる範囲で情報提供させていただくことになります。
委員	磐田市立総合病院と健康福祉部の連携についてお伺いしたい。
事務局	磐田市立総合病院との連携ですが、市の事業であるいきいき百歳体操の交流会や専門職派遣では、リハビリ職の先生方との調整で磐田市立総合病院が広域支援センターという役割を持っています。
委員	糖尿病性腎症対策として、磐田市は磐田市立総合病院の先生方からのご助言をいただきながら行っていると思います。
会長	以上をもちまして、本日の議事は終了いたします。 進行を事務局にお返しします。
6. その他 連絡事項	・ポスターコンクールの審査会へのご協力について ・第2回健康づくり推進協議会日程について ・次回の開催について 第2回は令和9年3月11日（木） 午後2時からiプラザ2階ふれあい交流室1
7. 閉会	以上をもちまして、令和8年度 第1回磐田市健康づくり推進協議会を終了いたします。